

大和ハウス工業株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、大和ハウス工業株式会社（以下「本法人」）が発行する第 34 回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2023 年 9 月 7 日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定されません。

本法人は、SPT1 を事業活動における温室効果ガス排出量を 2030 年度までに 70%削減（2015 年度比）、SPT2 をまちづくりにおける温室効果ガス排出量を 63%削減（2015 年度比）とし、どちらかが未達の場合、社債発行額の 0.05%を、両方が未達の場合、社債発行額の 0.10%を、環境保全活動を目的とする公益社団法人、公益財団法人、国際機関、自治体認定 NPO 法人、地方自治体やそれに準じた組織に対して寄付、または排出権（CO2 削減価値をクレジット・証書化したもの）を購入いたします。

また、本法人は、本債券の発行にあたって、「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」を策定しており、国際資本市場協会（ICMA）が定める「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2023」、ローン市場協会（LMA）などが定める「サステナビリティ・リンク・ローン原則 2023」及び環境省が定める「グリーン及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン（2022 年版）」、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン（2022 年版）」に適合する旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）より第三者評価を受けております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上